

# 新年のごあいさつ



## 市民にとって身近で 信頼される議会を目指して

稲沢市議会議長 六鹿順二



## 記憶に残る一年 未来へ進む稲沢市へ

稲沢市長 加藤錠司郎

あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、輝かしい令和2年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、平成の時代が幕を閉じ、新たに令和の時代がスタートした歴史的な年でありました。

さて、昨年10月には幼児教育・保育の無償化が始まりました。本市でも「子育て・教育は稲沢で！」の実現のため、若い世代が安心して子育てできる環境整備に取り組んでおります。2月には、子育て支援の拠点として「中央子育て支援センター」が開所するほか、稲沢東第2児童クラブの夏休み前の開所に向け、準備を進めているところです。

また、現在、市役所本庁舎東側に新分庁舎を建設しており、秋には皆さまにご利用いただける予定です。1階に福祉課を設置し、令和3年度からは社会福祉協議会を新たに集約することで、福祉のワンストップサービスを実現してまいります。また、2階に危機管理課と災害対策室を設置し、頻発し激甚化する自然災害に迅速に対応してまいります。

さらに、高齢者や障害者などを対象とした外出支援事業「稲沢おでかけタクシー」実証実験の市内全域への拡大、(仮称)イチヨウ見本園や祖父江生涯学習施設の整備など、「市民が、将来もずっと暮らし続けるまち」「名古屋圏で働く人が、暮らしの場として憧れるまち」となるよう施策や行政サービスに磨きをかけ、まちの魅力を高めてまいります。

本年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催年です。3月12日に行われるギリシャ・オリンピック市での聖火採火式には、本市の中学生が聖火ランナーとして参加します。さらに、4月6日にはその聖火が本市に届き、市内でも聖火リレーが行われます。赤々と燃える聖火がたくさんの方の思いを乗せて本市に届くことに、誇りを感じております。多くの市民の皆さまにご覧いただきたいと思っております。

結びに当たり、本年が皆さまにとって良い一年になることをお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

日ごろから本市議会へのご理解と、議会活動に対しまして温かいご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は「平成」から「令和」へと、新しい時代がスタートした年でありました。昨年9月には市議会議員の選挙が行われ、10月から26名の議員によりまして新たな市議会がスタートいたしました。市民の皆さまから信託をいただいた4年間、二元代表制の一翼を担う機関として、愛する郷土が明るい未来を迎えられるよう、身近で信頼される議会を目指してまいります。

昨年は、日本選手の活躍が目覚ましかったラグビーワールドカップや世界陸上競技選手権大会が行われました。本年開催されます東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会でも活躍を期待いたします。この大会で日本各地に受け継がれる聖火は、本市と姉妹都市でありますギリシャ・オリンピック市で行われた聖火採火式において聖なる炎が灯されたもので、稲沢市でもその聖火によるリレーが行われます。このまたとない機会に、市民の皆さまと一緒に応援していきたいと思っております。

このような世界的な大イベントをはじめ、本市においても国府宮駅周辺の再整備などさまざまな事業がございます。本年も市民生活が向上するように、議員一丸となり、政策形成能力を高め、議会改革の推進に取り組んでまいりますので、今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

市民の皆さまにおかれましては、この2020年が明るく豊かな年になりますよう心から祈念しまして、新年のごあいさつといたします。